

国民保護共同実動訓練実施結果

1 訓練の概要

(1) 目的

国民保護法に基づき、国、地方公共団体、その他関係機関が一体となった共同の実動訓練を実施し、関係機関の機能確認及び関係機関相互の連携強化を図るとともに、国民の保護のための措置に対する国民の理解の促進を図る。

(2) 実施日時

平成26年1月28日（火） 13:30 ~ 16:25

(3) 想定

名古屋市瑞穂公園野球場スタンドにおいて、化学剤（サリン）が散布され、多数の死傷者が発生する。その後、野球場スタンド内に爆発物が発見される。

(4) 主な訓練実施場所

ア 名古屋市瑞穂公園野球場周辺

（名古屋市瑞穂区山下通5丁目1番地）

- ・ 初動対処訓練（避難誘導、救出・救助等）
- ・ 除染、応急救護訓練
- ・ 被災者搬送訓練
- ・ 現地調整所運営訓練



イ 名古屋第二赤十字病院

（名古屋市昭和区妙見町2番地9）

- ・ 被災者（化学剤曝露者）受入訓練
- ・ 医療救護訓練



ウ 社会保険中京病院

(名古屋市南区三条1丁目1番10号)

- ・被災者(化学剤曝露者)受入訓練
- ・医療救護訓練



エ 名古屋市昭和スポーツセンター

(名古屋市昭和区吹上2丁目6番15号)

- ・救援訓練(避難所運営訓練)



オ 愛知県庁(愛知県自治センター)

(名古屋市中区三の丸3丁目1番2号)

- ・緊急対応事態対策本部員会議運営訓練
- ・合同対策協議会運営訓練





図1 主な訓練実施場所の配置

(5) 各サイトにおける訓練項目

ア 名古屋市瑞穂公園

(ア) 初動対処訓練

- ・ゾーニング
- ・被災者の避難誘導、救出・救助

(イ) 除染・応急救護訓練

- ・除染前トリアージ
- ・除染処置(乾式・湿式除染)
- ・搬送トリアージ(生理学的、解剖学的トリアージ)
- ・救護処置

(ウ) 被災者搬送訓練

- ・救急搬送
- ・バス搬送

(エ) 現地調整所運営訓練

イ 医療機関

(ア) 被災者受入訓練

- ・被災者(化学剤曝露者)の受入準備
- ・被災者(化学剤曝露者)の収容

(イ) 医療救護訓練

ウ 名古屋市昭和スポーツセンター

救援訓練(避難所運営訓練)

- ・安否情報収集
- ・メンタルヘルスへの配慮

エ 愛知県庁

(ア) 緊急対処事態対策本部員会議運営訓練

(イ) 合同対策協議会運営訓練

(6) 参加機関等

内閣官房、内閣府、警察庁、消防庁、厚生労働省、国土交通省、防衛省、中部管
区警察局、名古屋地方気象台

愛知県、愛知県警察

名古屋市、名古屋市消防局、瀬戸市消防本部、東海市消防本部、大府市消防本部、
豊明市消防本部、尾三消防本部

陸上自衛隊（中部方面隊第10師団）、自衛隊愛知地方協力本部

日本赤十字社愛知県支部

名古屋第二赤十字病院、社会保険中京病院、名古屋第一赤十字病院、名古屋掖济
会病院、藤田保健衛生大学病院、愛知医科大学病院、総合大雄会病院、愛知県厚
生農業協同組合連合会安城更生病院、愛知県厚生農業協同組合連合会豊田厚生病
院、豊橋市民病院、愛知県医師会、名古屋市医師会

公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会

名鉄バス株式会社

名古屋医専、東海医療工学専門学校

(37機関・参加人員約500人)

【用語の定義】

赤タグ：緊急治療が必要な重症患者（緊急治療群）

黄タグ：入院を要する中等症の患者（準緊急治療群）

緑タグ：入院を要しない軽症の患者（非緊急治療群）

黒タグ：災害による死者

被災者：災害に遭った者（化学剤非曝露者も含む）

2 訓練の流れ

訓練全体の流れ

時間	発災現場等	医療機関	避難所	県庁・市役所	政府
1330	名古屋市瑞穂公園野球場観客スタンドでサリン散布事案発生 消防、警察によりNBC簡易検知ゾーニング 被災者の救出・救助開始 現地調整所開設 除染前トリアージ 被災者の除染開始 DMAT順次到着 搬送トリアージ、応急処置開始 避難所設置	被災者受入準備		県危機管理対策本部設置 市危機管理対策本部設置 自衛隊に災害派遣要請 関係機関に応援要請	官邸対策室設置 緊急参集チーム招集
1400	スタンドで不審物（爆発物）発見 爆発物処理開始		避難所設置		
1418	現場除染開始				
1430	赤タグ・黄タグの救急搬送開始				
1435	現場除染完了				
1440	避難所への緑タグ等の搬送開始	被災者順次受入			
1500					国家安全保障会議 臨時閣議
1506	訓練終了				
1510			被災者受入		
1520					緊急処理事態の認定 緊急処理事態対策本部設置 政府現地対策本部設置
1530		訓練終了（中京）		県緊急処理事態対策本部設置 県緊急処理事態対策本部員会議開催	
1540					
1600		訓練終了 （第二日赤）	訓練終了		
1610				合同対策協議会への参加	合同対策協議会開催
1625				訓練終了	訓練終了

青字は仮想の動きで、実動による訓練は実施しない。

3 各サイトにおける訓練内容等

(1) 名古屋市瑞穂公園における訓練

ア 初動対処訓練

・ゾーニング

防護措置のレベルに応じて、野球場内外に危険区域（ホットゾーン）、準危険区域（ウォームゾーン）及び警戒区域（コールドゾーン）を設定

・被災者の避難誘導、救出・救助

被災者の避難誘導及び救出・救助を実施

イ 除染・応急救護訓練

・除染前トリアージ

化学剤の付着状況により、除染方法を決定

・除染処置(乾式・湿式除染)

除染エリアを設置し、衣服や体表に付着した化学剤を乾式除染（脱衣、清拭）又は湿式除染（洗浄）により除去

・搬送トリアージ（生理学的、解剖学的トリアージ）

現場救護所の体制等を踏まえ、トリアージポストにおいて患者の搬送の順位付けを実施

・救護処置

現場救護所において、呼吸・気道の安定維持、痙攣管理などを目的に応急救護を実施

ウ 被災者搬送訓練

・救急搬送

被災者（赤タグ及び黄タグ）を救急車により医療機関へ搬送

・バス搬送

被災者（緑タグ及び非曝露者）を指定地方公共機関のバスにより避難所へ搬送

エ 現地調整所運営訓練

関係機関（愛知県、名古屋市、警察、消防、自衛隊、DMAT）の活動調整を行うため、現地調整所を設置・運営

オ 爆発物処理訓練

スタンドで発見した爆発物を処理

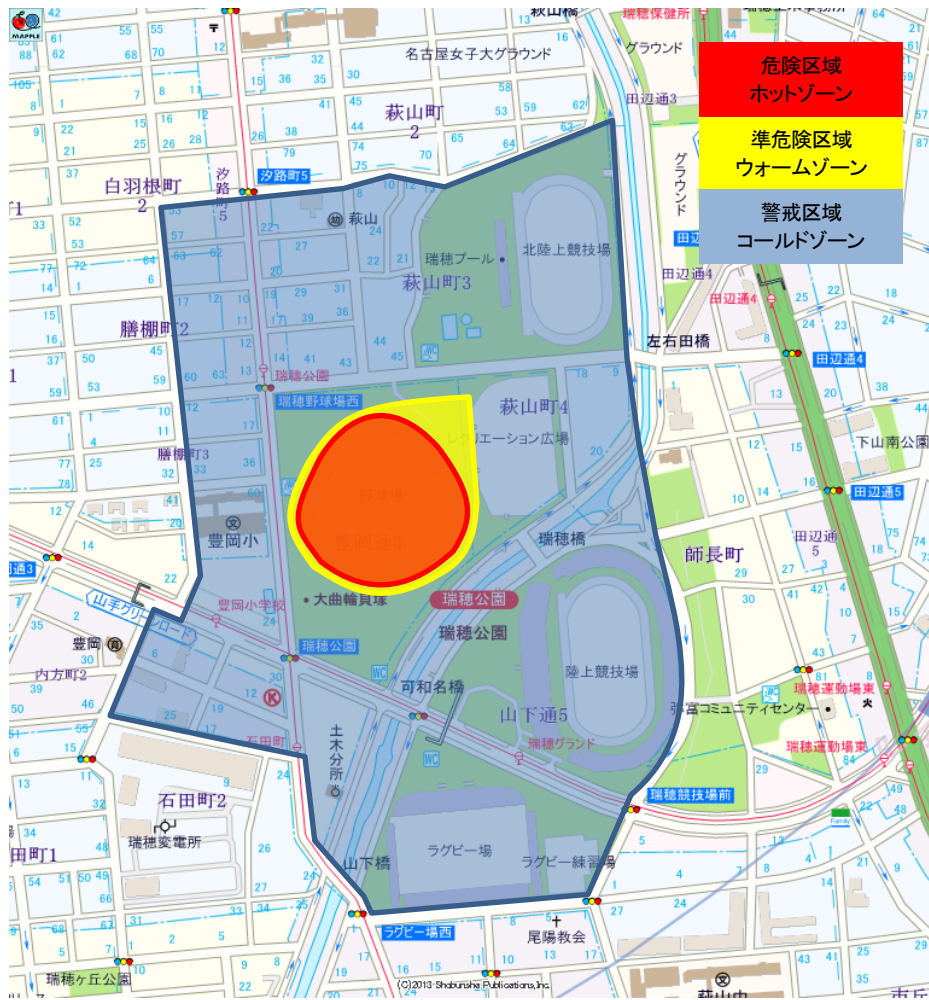


図2 名古屋市瑞穂公園等における活動図（全体図）

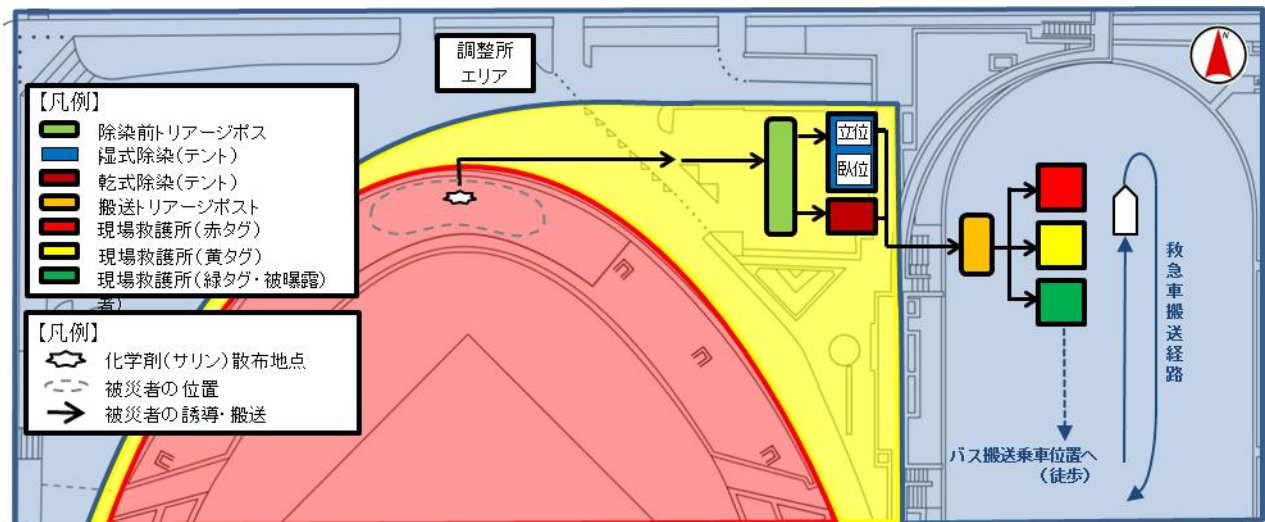


図3 名古屋市瑞穂公園等における活動図（野球場北側）

訓練写真（瑞穂公園野球場周辺）

訓練開始前（知事・名古屋市長メッセージ）



訓練開始



110番通報



球場職員による避難誘導・被災者確認



到着した警官による聴取



NBC検知



ゾーニング



消防による被災者へ説明



消防現場指揮本部



警察現場指揮本部



救出・救助



検体採取



現地調整所開設



DMA T本部



除染前トリアージ



除染（湿式）



除染（乾式）



搬送トリアージ



現場救護所



赤タグ・黄タグ被災者の救急搬送



緑タグ被災者を避難所へバス搬送



爆発物処理



現場除染



隊員除染



(2) 医療機関における訓練

ア 被災者受入訓練

- ・被災者（化学剤曝露者）の受入準備
多数の被災者に対応する医師及び医療スタッフの確保・配置、医療資機材等の事前準備を実施
- ・被災者（化学剤曝露者）の収容
救急車により順次搬送される被災者の収容を実施

イ 医療救護訓練

収容された被災者に対し、医療処置を実施

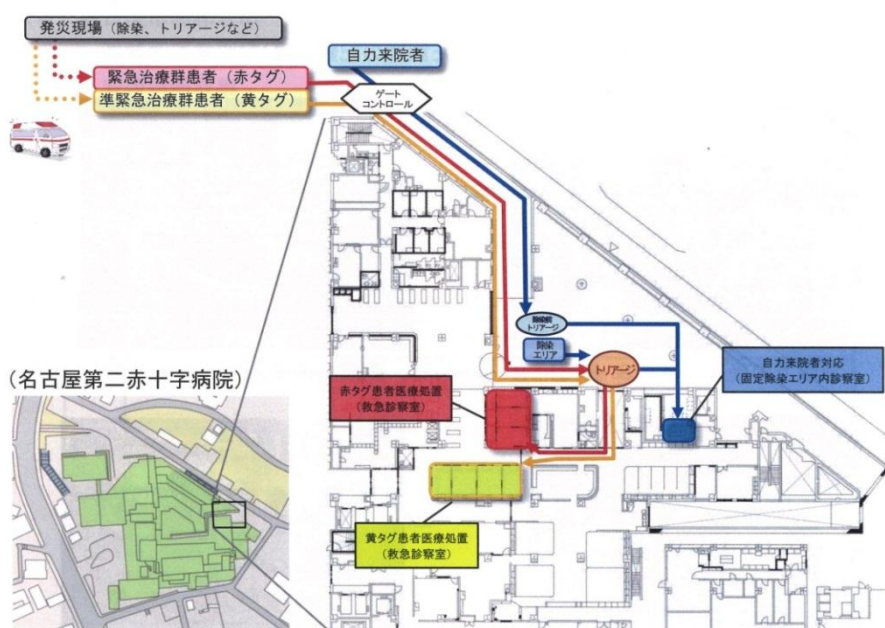


図4 名古屋第二赤十字病院における活動図

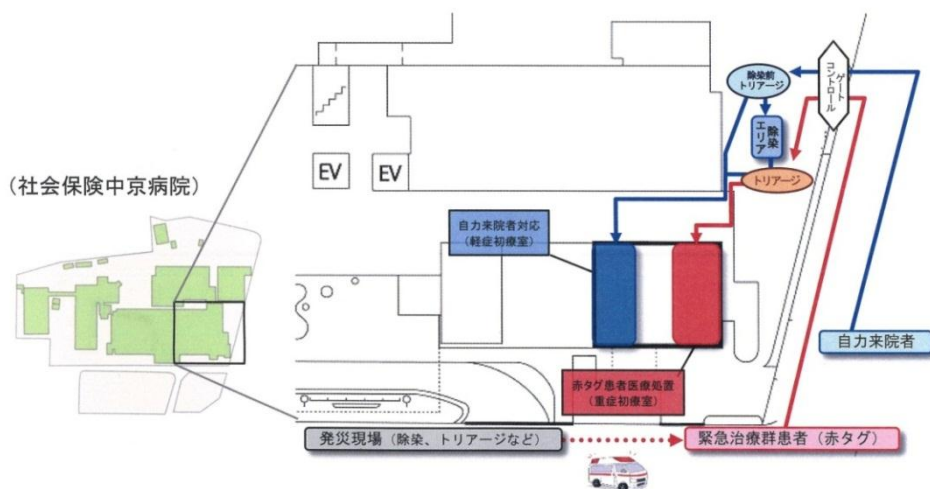


図5 社会保険中京病院における活動図

訓練写真（名古屋第二赤十字病院・社会保険中京病院）

病院での受入準備



（名古屋第二赤十字病院）



（社会保険中京病院）

被災者受入



（名古屋第二赤十字病院）



（社会保険中京病院）

医療処置



（社会保険中京病院）

自力来院者への対応



(名古屋第二赤十字病院)



(社会保険中京病院)



(名古屋第二赤十字病院)

(3) 名古屋市昭和スポーツセンターにおける訓練

救援訓練（避難所運営訓練）

- ・安否情報収集

被災者及び避難者の安否情報の収集を実施

- ・メンタルヘルスへの配慮

心理学的情報提供としてのチラシ配布、医療救護班による問診、健康相談等を実施

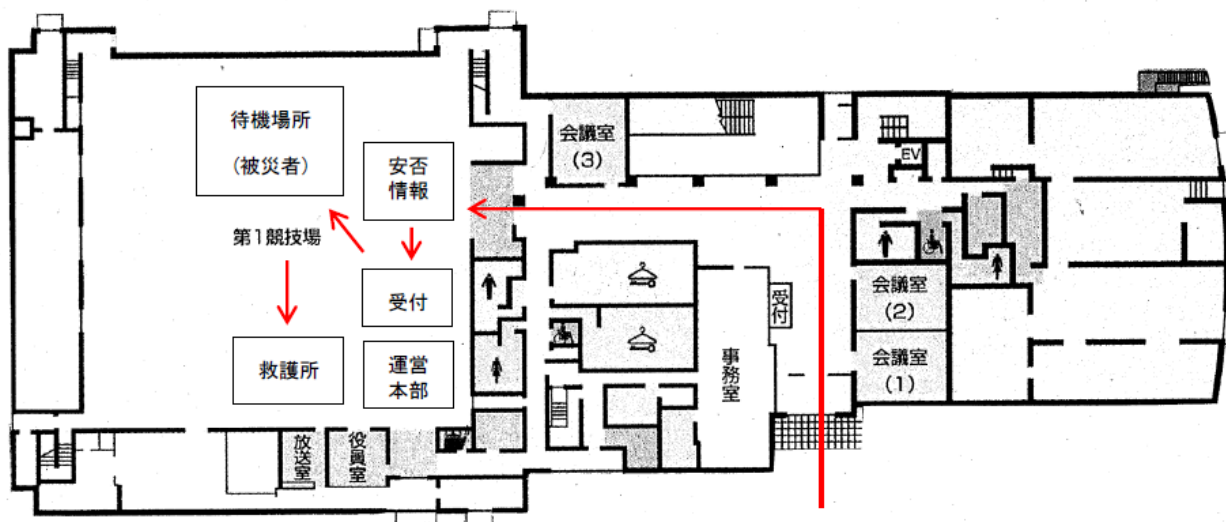


図10 名古屋市昭和スポーツセンターにおける活動図

訓練写真（名古屋市昭和スポーツセンター）

被災者誘導



安否情報様式に記入



安否情報様式を受付



メンタルヘルスについて説明



医療救護



全景



(4) 愛知県庁における訓練

- ア 緊急対処事態対策本部員会議運営訓練（県自治センター12階会議室E）
愛知県及び関係機関等による愛知県緊急対処事態対策本部員会議を開催し、今後の対応方針について協議
- イ 合同対策協議会運営訓練（同会議室）
政府、愛知県、名古屋市及び関係機関等による合同対策協議会を開催し、今後の対応課題等について、協議・情報共有を実施

訓練写真（愛知県庁）

愛知県緊急対処事態対策本部員会議



合同対策協議会

